

学校だより 11月号

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

令和元年 11月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

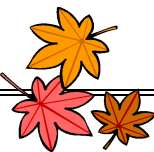
URL

<http://koya-e.konosu.ed.jp>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



子どもたちに続く未来のために ～地球温暖化対策は私たち一人ひとりの課題～

校長 池澤 道弘

10月12日に関東地方に上陸し、その後東北地方を通過した台風19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。保護者や地域の皆様の中にも避難を余儀なくされ、不安な夜を過ごされた方もいらしたかと思います。本校にも多くの方が避難されてきました。学校としての対応に不手際や不備が少なからずあったかもしれません。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

台風19号は、9月に千葉県を襲った台風15号の暴風とは違い、各地に猛烈な雨を降らせました。埼玉県内でも都幾川、越辺川等で堤防の決壊や越水が発生し、東松山市や川越市等で大きな被害を受けました。荒川も一時氾濫危険水位に達するなど予断を許さない状況でしたが、なんとか堤防が持ちこたえてくれました。もしかしたら、本市の日本一広い川幅が荒川流域の地域を救ってくれたのかもしれません。いずれにしても、自然の猛威と災害に対する備えの大切さを改めて認識した次第です。

近年、日本列島に台風が上陸するたびに「記録的な…」という言葉をよく耳にするようになりました。報道によると非常に強い勢力の台風の発生と地球温暖化は関連している可能性があるようです。9月23日にニューヨークで開かれた国連気候行動サミットに出席したスウェーデンの環境活動家で16歳のグレタ・トゥーンベリさんは、世界のリーダーを前に、時に涙を浮かべながら約5分間次のようなスピーチを行い、温暖化解決のための具体的な行動を取らないのであれば、「結果とともに生きなければいけない若い世代」はあなたたちを許さないと強く訴え、地球温暖化に本気で取り組んでいない大人たちを叱責しました。

私から皆さんへのメッセージ、それは「私たちはあなたたちを見ている」、ということです。私は今、この壇上にいるべきではありません。私は海の向こうで学校に行っているべきです。それなのに、あなたたちは私に希望を求めてここにきたのですか？よくそんなことができますね！あなたたちは空っぽの言葉で、私の夢そして子ども時代を奪いました。それでも私はまだ恵まれている方です。多くの人たちが苦しんでいます。多くの人たちが死んでいます。全ての生態系が破壊されています。私たちは大量絶滅の始まりにいます。それなのにあなたたちが話しているのは、お金のことと、経済発展がいつまでも続くというおとぎ話ばかり。恥ずかしいくないのでしょうか！（一部抜粋）

トゥーンベリさんの真っ直ぐな言葉は、深く胸に突き刺さります。誰もが地球温暖化を危惧しています。何とかしなければとは思っています。でも、私を含め多くの人が日々の生活に流されてしまっているのではないのでしょうか？確かに温室効果ガスの削減は、各国が連携し世界規模で取り組んでいかなければならない課題です。でも、例えば自動車ではなく、できるだけ自転車を使うようにするとか、衣服を調節することで暖房をなるべく使わないようにするとか、ECOを意識した生活をするのは私たちにもできます。

今回の事態に直面して、今学んでいる子どもたちの未来、更にはもっとずっと先の未来のために、「誰か」ではなく、私たち一人ひとりが地球環境を守る努力をしていく必要があることを強く感じました。

